

# Рахмат & Спасибо

～ありがとう～ 国語キルギス語「ラフマツ」と公用語ロシア語「スパシーバ」



皆さん、こんにちは。 Саламатсыздарбы! (キルギス語)  
Здравствуйтесь! (ロシア語)

厳しい寒さが続いています。-10℃を下回る日も多く、息をすると鼻の奥までキーンと痛いです。校舎の屋根から伸びた氷柱は現在数十センチ。こんなに寒くても休憩時間になると子どもたちは一斉にグラウンドへ飛び出して行きます。背丈ほどある雪ダルマを作ったり雪合戦をしたり、そりで遊んだり。元気いっぱい走り回っています。春の訪れを待ちわびながら、もうしばらくキルギスの冬を楽しみたいと思います。

最終回は 11 月～1 月の出来事を中心に活動の様子を紹介します。



そり遊びをする少女



-13℃極寒の朝



雪と格闘する6年生

## <世界の笑顔のために>

途上国に行かなくても国際協力はできます。「世界の笑顔のために」という JICA のプログラムを知っていますか？ スポーツ用品、楽器類、教材類、日本語・日本文化紹介物品、保育・福祉関連用品を、日本国内の提供者から必要としている場所へ届けることのできる制度です。

本校では体育用品の不足が著しいため、授業で使うボールを申請しました。先日、温かい気持ちのこもったテニスボールとバスケットボールが日本から届きました。これらは、中学校、高校、民間企業、個人など幅広い方々が無償で供与して下さったものです。校内を探し回って空気ポンプを見つけバスケットボールに空気を入れました。ペしゃんこのボールが少しずつ大きくなっていく様子に生徒たちは釘付けです。早速、夢と希望の詰まったボールを弾ませ練習が始まりました。一方、テニスボールはどうやって使うと思いますか？ラケットを揃える予算など本校にはありません。体力測定でのボール投げや遠投の授業で活用すること。なるほど、発想の転換ですね。

日本語補習に参加している生徒たちが中心となってお礼状を書き日本へ送りました。手紙を受け取られた方々もきっと笑顔になって下さったと思います。

(当プログラムについての詳細は「JICA 独立行政法人 国際協力機構 HP」をご覧ください。)





## <オリンピアダ(共通学力試験)>



12月下旬にケミン地区のオリンピアダが実施されました。オリンピアダとは9～11年生の成績優秀生徒を対象にした共通学力試験の事です。各校の代表者たちが、地理、歴史、生物、化学、物理、数学、キルギス語、ロシア語、英語、情報等のうちから1教科受験します。

当日の朝、会場は受験生、保護者、教員でごった返し、センター試験さながらの雰囲気です。校長先生も応援に駆け付け、一人ひとりに声を掛けていました。普段は楽天的な本校の生徒たちもさすがに落ち着かない

ようです。日本のおまじないをアレンジして、手のひらに“OK”と3回書いて飲み込み、緊張をほぐしました。少し表情が和らぎ一安心。間もなく入室の合図がありました。

地区のオリンピアダで上位に入賞すると州の試験に進めます。そこで好成績を収めた生徒は首都ビシュケクで全国試験に挑みます。

受験生たちの熱い戦いが始まりました。もちろん結果は大切ですがそれが全てではありません。目標に向かって努力を重ねてきた生徒たちが最後までベストを尽くせるように応援したいと思っています。



## <世界平和を願って>



1月下旬から平和学習を始めました。これは私がどうしてもやりたいと思っていた活動の1つです。「原爆被害の実相を伝え平和意識を高揚したい」と申し出たところ校長先生も快諾して下さい、広島平和記念資料館から「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター(ロシア語)」を取り寄せました。また、昨年5月にオバマ米国大統領(当時)が広島を訪問した際の新聞記事を家族に送ってもらい、合わせて紹介することにしました。30枚のポスターを丁寧に貼りながら、子どもたちと一緒に考えた展示テーマは「世界平和」。キルギスと日本だけでなく全世界の平和を願うため、補習で学んでいる各言語でも表記することにしました。キルギス語、ロシア語に加えて日本語、英語、中国語。生徒たちが分担して書き、みんなで作った折り鶴を飾りました。



被爆の惨状に思わず顔をしかめる子どもたち。保護者や先生方も数多く足を止めて展示に見入っています。噂を聞いた地域の人々が小さな子どもを連れて見に来てくれることもあります。千羽鶴にはロシア語の説明を付け希望者には折り方を教えています。2月には英語の授業でDVDを活用した平和学習を行う予定です。

原爆写真ポスターによるイベントは、本校だけでなくキルギスの他地域でも実施することになっています。子どもたちが戦争の悲惨さを直視し平和な世界の担い手になってくれることを祈りながら、取組を進めていくつもりです。

青年海外協力隊員としての活動期間も残りわずかとなりました。この国が教えてくれた様々なことを広島県の教育に生かせるよう、最後まで健康と安全に留意して活動したいと思います。2年間の貴重な体験に心から感謝しています。Рахмат & Спасибо!

